

平成30年3月7日
山形大学

「ベニちゃんバス」運行状況解析を産学官地域連携で行っています！

山形市のコミュニティバスである「ベニちゃんバス 東くるりん&西くるりん」の運行状況解析を協定[†]に基づき山形市・あいおいニッセイ同和損害保険・山交バス・NTTドコモ・山形大学理学部等が連携して行っています。

数値化された客観的な運行状況は、今後の「ベニちゃんバス」運用方針を決定する上で、重要な基本環境情報となります。また、理学部数理科学科の学生にとって、自分たちが学んできたデータサイエンスの知見が山形市の公共交通環境の改善に役立てられるなら、卒業研究に取り組む上で、大きなモチベーションを得ることになります。

([†]: 地(知)の拠点大学による地方創生事業の共同実施による協定)

■ベニちゃんバス 東くるりん&西くるりん

山形市内の東西を100円で運行する「ベニちゃんバス」は山形市民の親しまれる大切な公共交通機関です。しかし、住宅街を縫うように運行する「ベニちゃんバス」は、この冬、雪の影響で大幅な遅れが発生する場面もありました。市民の大切な足が、これからも愛され続けるためにも、客観的な運行状況情報を収集・解析することで、運行改善に少しでも役に立てればと、この調査企画を開始しました。



■3つのツールで、ベニちゃんバスを大追跡！

あいおいニッセイ同和損害保険の提供するBluetooth端末「Visual Drive」により車の傾きや加速度を測定し、NTTドコモが提供する「スマートフォン」で車の位置を表わすGPS情報を記録し、山形大学理学部が提供する「タイムラップカメラ」で運行状況を画像データに納めます。これらの機材を山交バスが運行する「東くるりん」及び「西くるりん」に設置し、平成30年3月1日から3月31日まで運行情報を収集します。



■データ解析は理学部数理科学科の卒業研究に得られたデータは、理学部協研究室でデータサイエンスの知見を活用した卒業研究として解析が行われ、秋には山形市役所での解析報告会の実施を予定しています。



(お問合せ先)

学術研究院 教授(応用代数)

脇 克志

電話 023-628-4637